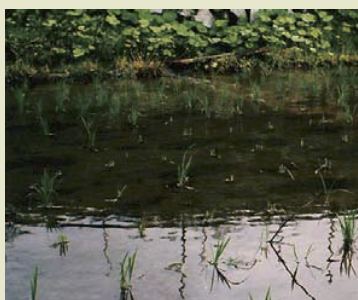


狩猟者のみなさまへ

大阪南部でシカが増えています



シカが増えすぎると、農業や林業への被害や、自然植生の衰退などの問題が発生します。



農業被害(水稻の食害)



林業被害(樹皮はぎ)

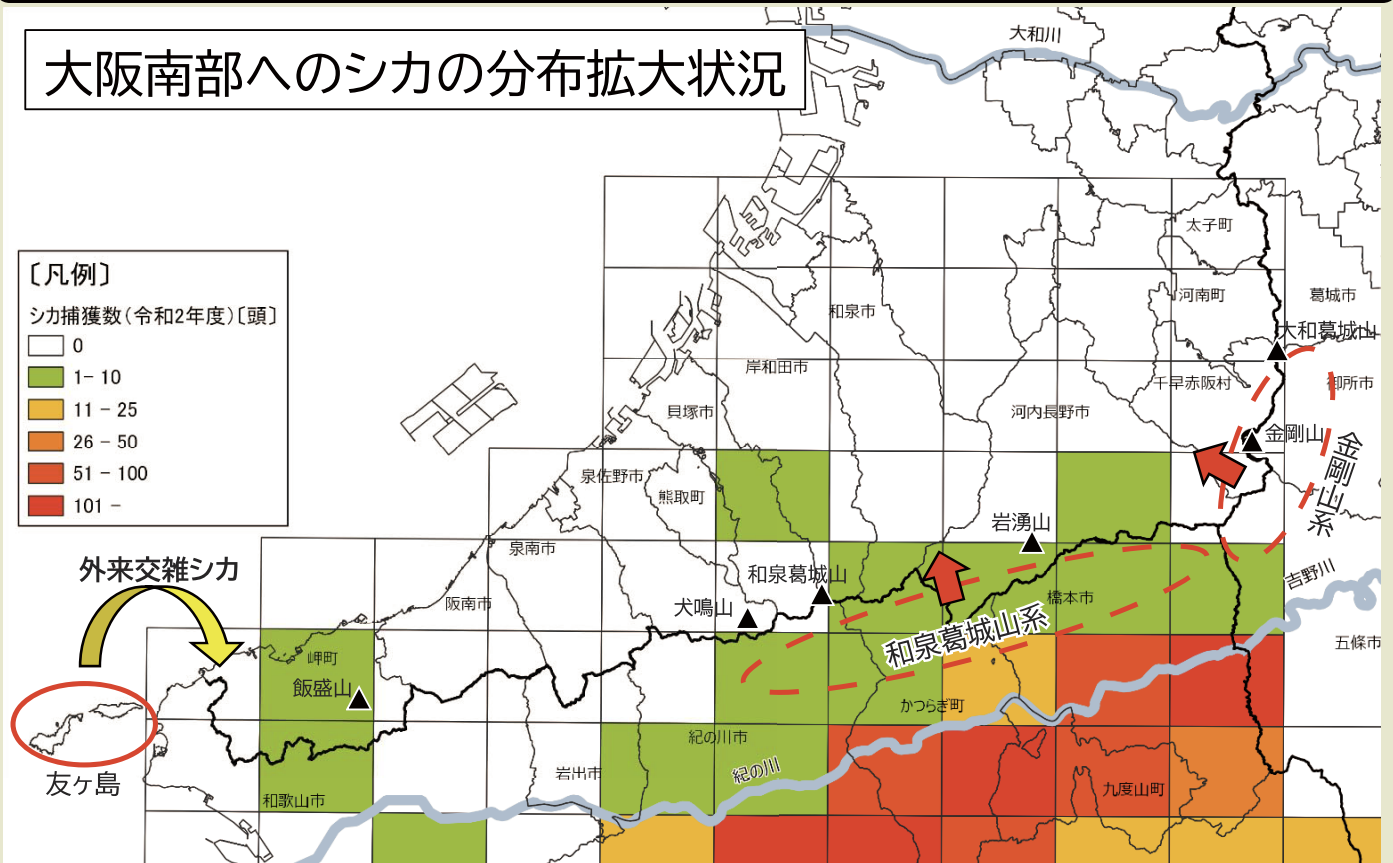


自然植生への被害(下草の衰退)

大阪南部でのシカの捕獲にご協力ください

シカの分布域が拡大しています

大阪南部へのシカの分布拡大状況



大阪南部で確認されているシカの多くは、隣接する奈良県や和歌山県の金剛・和泉葛城山系から大阪府内に侵入した個体だと考えられます。

また、和歌山県の友ヶ島(沖ノ島)には、過去に台湾から人為的に導入された外来交雑シカが生息しており、その一部が本土側に侵入している可能性もあります。

既に大阪南部のどの地域でもシカが侵入しうる状況となっており、被害防止のためにも捕獲を進めていく必要があります。

シカを捕獲したら

大阪府では、友ヶ島からの外来交雑シカの侵入状況を把握するため、大阪南部で捕獲されたシカを対象に、遺伝子検査を行っております。

大阪南部でシカを捕獲された際は、下記までご連絡ください。

(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所
生物多様性センター 野生鳥獣担当
電話番号 072(833)2770
ファックス 072(831)0229

カモシカの誤捕獲にご注意ください

令和4年4月に、泉佐野市の犬鳴山付近でニホンカモシカが確認されています。

ニホンカモシカは国の特別天然記念物に指定されており、これを捕獲することは禁止されています。シカと誤認して捕獲することがないようにご注意ください。

